

教育研究評議会議事録

平成26年 2月12日（水）
15時30分から16時52分まで
事務局第1会議室

議事

I 教育研究評議会議事録（1月15日開催）の確認

II 協議事項

- 1 教育研究評議会への質問書について
- 2 授業科目のナンバリング導入について

III 報告事項

- 1 経営協議会について
- 2 オープンキャンパス2014について
- 3 平成26年度入学者選抜志願状況について
- 4 各学部の学生便覧等について
- 5 就職内定状況について

IV その他

- 1 早期退職に係る募集実施について

出席者

議長	結城章夫	(学長)				
理事	小山清人	北野通世	深尾 彰	安田弘法	柴崎 孝	
評議員	北川忠明	阿部宏慈	(人文学部)			
	須賀一好	佐々木正彦	(地域教育文化学部)			
	玉手英利	(理学部)				
	上野義之代理	細矢貴亮	(医学部)			
	飯塚 博	森 秀晴	(工学部)			
	西澤 隆	夏賀元康	(農学部)			
	久保田功	(附属病院長)				
	渡邊洋一	(基盤教育院長)				
監事	斎藤亮一	三浦正昭				

欠席者 鶴浦 啓 (理学部) 山下英俊 (医学部)

列席者 企画部長 財務部長 施設部長 小白川キャンパス事務部長
工学部事務部長 医学部事務部副部長
総務課長 人事課長 労務課長 企画課長 財務課長
政策課長 入試課長 小白川キャンパス事務部総務課長
教務課長 人文学部事務長 地域教育文化学部事務長
理学部事務長 農学部事務長

議事に先立ち、玉手理学部長から、2月10日に発生した理学部建物火災について、火災の原因及び被害の状況並びに今後の対応について報告があった。次いで結城学長から、火災を未然に防止するための注意喚起及び古い電気機器の点検等を至急実施するよう依頼があった。

I 教育研究評議会議事録（1月15日開催）の確認

平成26年1月15日(水)開催の教育研究評議会議事録が確認された。

II 協議事項

1 教育研究評議会への質問書について

結城学長から、本件については、平成25年12月11日開催の本会において調査委員会報告書により審議した「山形大学職務発明規程第9条第3項の規定に基づく異議申立て」について、本会の「異議申立ては棄却する」との決定事項に対して、資料1のとおり内容証明郵便にて本会宛に質問書が差し出されたため、その中の要望に対して12月開催の本会議事録及び調査委員会報告書を提出したい旨説明があった。

次いで結城学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

2 授業科目のナンバリング導入について

小山理事から、平成27年度入学者から授業科目のナンバリングを導入することについて審議願いたい旨、資料2に基づき説明があった。

引き続き、概ね次のような意見交換があった。

- ・ナンバーを決定するのはどこになるのか。(阿部評議員)
- ・教育・学生委員会で実施することになる。(小山理事)
- ・全国でどのくらい実施しているのか。(夏賀評議員)
- ・全国で3～4校が実施しているが、他は検討の段階である。(小山理事)
- ・ナンバリングの検討と作業はどのように行うのか。
(須賀地域教育文化学部長)
- ・検討は教育研究評議会で行い、作業は教育・学生委員会を予定している。
(小山理事)
- ・必要性を議論してから導入するか検討してはどうか。(久保田附属病院長)
- ・ナンバリングの実施に関する具体的な検討は、教育・学生委員会で行うものと考えている。(結城学長)
- ・ナンバリングを導入する意味をもっと検討すべきである。(佐々木評議員)
- ・導入について学部で検討して本会に提案すべきではないか。(玉手理学部長)
- ・導入した場合にデメリットはあるのか。(飯塚工学部長)
- ・しいて言えば実施に際して作業が伴うことである。(小山理事)
- ・導入するメリットはあるので本会で決定してほしい。(阿部評議員)
- ・学部で情報の共有が必要であるが、学部持ち帰りでの検討ではなく、本会で決定していただきたい。(北川人文学部長)

次いで結城学長から、本件について諮られた結果、教育研究評議会ではナンバリングを導入することを確認し、具体策等の検討を各学部で行い、問題があれば教育・学生委員会で検討することが了承された。

II 報告事項

1 経営協議会について

結城学長から、去る1月31日(金)に開催された本件について、資料3に基づき概要報告の後、北野理事から、給与減額支給措置の実施期間を2か月短縮する旨口頭により説明があった。次いで柴崎理事から、資料3-1及び3-2に基づき、次のとおり説明があった。

- ・平成26年度学内予算編成方針(案)については、前回の経営協議会において各委員からいただいた意見を踏まえ取りまとめたものであり、前年度予算額をベースとした配分ではなく、節約・節減できる経費や廃止すべき事業の洗い出しを行い配分の見直しを図る方向で策定したものである。
- ・平成25年度学内補正予算(案)については、給与の減額支給措置の解除等に対応するため収入支出予算を補正したものである。

2 オープンキャンパス2014について

小山理事から、来年度の実施日程について各学部から報告があり、資料4のとおり開催することになった旨報告があった。

3 平成26年度入学者選抜志願状況について

北野理事から、平成26年度山形大学一般入試の志願状況について、資料5のとおり確定した旨、また、昨年に比べ志願者数は増となっているが、志願倍率が下がっている学部については、対策を検討してほしい旨依頼があった。

4 各学部の学生便覧等について

小山理事から、各学部の学生便覧等については、平成27年度から名称等を統一する旨、資料6のとおり報告があった。

5 就職内定状況について

小山理事から、平成25年度卒業(予定)者の就職(内定)状況について、資料7に基づき報告があった。

IV その他

1 早期退職に係る募集実施について

北野理事から、組織の活性化を図ることを目的として早期退職に係る募集を実施した旨、資料8に基づき報告があった。

2 その他

(1) ・知的財産に係る規則改正に必要な過半数代表者の選出について、農学部内の意見として、教授会構成員のみでの選出に問題があるとの指摘があり、どのようにして選出してよいか困っている。(西澤農学部長)

・学部の事情に応じた選出方法で決めてもらってもよい。(北野理事)

(2) 西澤農学部長から、1月15日に発生した大学院農学研究科の入試ミスについての謝罪とその経緯説明があった。

3 次回開催日について

次回は、平成26年3月13日(木)に開催することになった。

配付資料

- 資料 1 質問書(教育研究評議会宛)
- 資料 2 速やかに取り組むことが求められる事項(中央教育審議会(答申)抜粋)
- 資料 3 経営協議会議事(平成 25 年度第 5 回)
- 資料 3-1 平成 26 年度学内予算編成方針
- 資料 3-2-1 平成 25 年度学内補正予算について
- 資料 3-2-2 平成 25 年度学内補正予算
- 資料 4 オープンキャンパス 2014 について
- 資料 5 平成 26 年度山形大学一般入試志願状況「確定」
- 資料 6 各学部の学生便覧等について
- 資料 7 平成 25 年度卒業(予定)者の就職(内定)状況調《学部》
- 資料 8 早期退職に係る募集実施要項